

- 1、題目は、一行めの三ばんめか四ばんめのマスから書きましょう。
- 2、学校・学年・組・氏名は二行めに書きましょう。
- 3、文章は三行めから一字きけて書きはじめましょう。
- 4、文章の構想をしっかりと立ててから書きはじめましょう。各段落のはじめはかならず一字きけて書きはじめ、一つの段落が終わったら行を変えましょう。

（ ） 月 日 曜日

屋久島のオスス人の滝

岳南中学校 古賀 結人

屋久島の壮大な自然を感じられる屋久島の滝。そんな屋久島の滝の魅力を紹介したりと思ひます。

まず、紹介するのは自然の壮大さを感じられる大川の滝。

大川の滝は日本の滝百選に選定されていまして、まずは、大川の滝の魅力を紹介します。と思ひます。

中学校

大川の滝の一つ目の魅力はとてき高い高さから流れる滝という事です。ハ十八メートルという高さから流れおちる水は水しぶきを起し夏場でもとて涼しくなります。私が小学生の頃はよく訪れており、水しぶきを浴びに滝っぱのほうまで涼みに行きました。夏場では、クーラーのように体を冷やしてくれまます。

屋久島観光でちょっと一息つきたりときに、こみこみはいかかでしょうか。

No.

20×20

(不許複製)



- 5、読みやすいように、と。とをしつかりつけましょう。と。とは、それぞれ一字にかぞえて、マスのなかの右上のほうにつけましょう。
- 6、人が話したところは、「」のなかに入れましょう。「」は、それぞれ一字にかぞえてマスのなかに入れましょう。
- 7、漢字やかなづかいに気をつけ、特に「は」と「わ」、「へ」と「え」、「お」と「を」を、しっかりと使いわけましょう。
- 8、書きおわったら、何回も読みなおし、まちがいをなおして、たりないことをおきない、むだなことをけずりましょう。

1. 題目は、一行めの三ばんめか四ばんめのマスから書きましょう。
2. 学校・学年・組・氏名は二行めに書きましょう。
3. 文章は三行めから一字きけて書きはじめましょう。
4. 文章の構想をしっかりと立ててから書きはじめましょう。各段落のはじめはかならず一字きけて書きはじめ、一つの段落が終わったら行を変えましょう。

（ ） 月 日 曜日

大川の滝は県道沿いにあり、比較的手軽に行けるのと、大川の滝付近には日本名水百選に選ばれていて、大川湧水があるので沢山の観光が出来ます。

次に紹介するのは、千尋の滝です。

千尋の滝は大川の滝のよりに近くに行くことはできませんが、吊り橋や展望台から見ることが出来ます。

千尋の滝の高さは六十メートルで大川の滝よりは少し短いですが。

中学校

僕は展望台からでしか千尋の滝を見たことがないのですが、千尋の滝は大川の滝とは、違う魅力があると思います。

千尋の滝は、とても大きな谷の間にあり、展望台からはその大半を見ることが出来ます。

その谷の魅力は大川の滝と同じくらい大かと思えます。

谷は花崗岩でできている、屋久島の土台とも言えます。

さで、いかがた、たでし、うか、

No.

20×20

(不許複製)

5. 読みやすいように、と。とをしつかりつけましょう。
6. 人が話したところは、「」のなかに入れましょう。「」は、それぞれ一字にかぞえて、マスのなかの右上のほうにつけましょう。
7. 漢字やかなづかいに気をつけ、特に「は」と「わ」、「へ」と「え」、「お」と「を」、しっかりと使いわけましょう。
8. 書きおわったら、何回も読みなおし、まちがいをなおして、たりないことはおきない、むだなことはけずりましょう。



- 1、題目は、一行めの三ばんめか四ばんめのマスから書きましょう。
- 2、学校・学年・組・氏名は二行めに書きましょう。
- 3、文章は三行めから一字書いて書きはじめましょう。
- 4、文章の構想をしっかりと立ててから書きはじめましょう。各段落のはじめはかならず一字書いて書きはじめ、一つの段落が終わったら行を変えましょう。

() 月 日 曜日

僕はこの屋久島の自然を素晴らしいと思
 ったのはごく最近です。
 しかし、屋久島を想う気持ちは昔から変わ
 りません。

僕はなぜこの島の自然を観光客の皆さんが
 「きれいな美しい」と思うかきかると考えたりま
 した。

僕も何度か山に入り、滝を見たゾ、し
 てきました。しかし、生まれながらにあるも
 のなのでその魅力や大切さに気づけませんで

中学校

した。

僕が屋久島の本当の素晴らしさを気づいた
 のは最近ですがこれからはきれいでいてほし
 いです。

(不許複製)

- 5、読みやすいように、と。とをしつかりつけましょう。と。とは、それぞれ一字にかぞえて、マスのなかの右上のほうにつけましょう。
- 6、人が話したところは、「」のなかに入れましょう。「」は、それぞれ一字にかぞえてマスのなかに入れましょう。
- 7、漢字やかなづかいに気をつけ、特に「は」と「わ」、「へ」と「え」、「お」と「を」とを、しっかりと使いわけましょう。
- 8、書きおわったら、何回も読みなおし、まちがいをなおして、たりないことばをおぎない、むだなことばをけずりましょう。

